





巨峰エリア  
【撮影:北野重時】



太清宮



上清宮



華嚴寺

— どうやってお生まれなりましたっけ？

ちょっと難しいんじやが、地質学的には新華夏造山期の第2隆起時代にその骨格ができ、ジュラ紀に入ってその岩盤が地表に露出したんじやな。今から8千万年~1億2千万年くらい前のことじや。岩盤はそのほとんどが花崗岩なんで、その後の風化と浸食が、現在の奇岩そびえるスタイルに定着したというワケじや。

— どんな岩をお持ちなりましたっけ？

巨大な奇岩が点々としてあって、青蛙岩やら、らくだ岩やら、ライオン岩やらと主だったものには、その形から人間どもが勝手に名前をつけおった。その全てを写真に撮ってコレクションしとるヤツもおる。ちょっと照れくさいかの。

— 海岸線ってどれぐらいの長さなりましたっけ？

海岸から急にそびえておるから「海山第一」なんて言われて調子に乗ってた時期もあったかの。うちの場合は、海と山が接する場所がすなわち海岸線なんじやが総延長は87.3kmにもなる。海岸線が入り組んでおるから、自ずとその距離も長くなるんじや。

— どんなご気候なりましたっけ？

一言で言えば「温暖&湿润」。松潤ではないぞ。海流の加減で、同緯度地域と比較しても、夏涼しく、冬温かいんじや。その独特の地形から、多種多様の動植物がウチで暮らして。植物に関して言えば、温帯性のものでなく、寒帯性、亜寒帯性、それに亜熱帯性のもも一部自生しておる。樹齢2000年のカシワの木、樹齢1000年のニレの木、宋代のイチヨウなども山内にはあるかの。まさしく大植物園の模様じやの。

— 風景区はいくつをお持ちなりましたっけ？

巨峰、登瀛、流清、太清、上清、棋盤石、仰口、北九水、華嚴の9つのエリアで、総計446平方キロメートルが観光地として開放されておる。ただ今後、沙子口、王哥庄、北宅、惜福鎮、夏庄の5つのエリアが整備されていく予定じや。

— それぞれ、どんな風景区なりましたっけ？

お又シ、そんなコトも知らんのか。今夜は特別じやぞ。一息に説明するから聞き漏らさんようにな。「巨峰エリア」は、山頂の巨峰を中心とする山を純粋に楽しむエリアじや。ただ外国人の入山は現在制限されておる。ここはうちのハイライトじやな。

「登瀛エリア」はワシの遠景を楽しむエリアじや。ここから見えるうすら雪化粧の日のワシは「登瀛梨雪」と賞賛される美しさ。水蜜桃の木が多く、花が咲くころも美しいの。

「流清エリア」は川のあるエリアじや。古くから人間が集落を作り暮らしていたため、先天庵や鉄瓦殿などの遺構が残っておる。

「太清エリア」は崂山道教では本山的存在の太清宮を中心としたエリアじや。海に面しておいて潮風も気持ちよいぞ。

「上清エリア」は太清宮の奥の院的存在の上清宮

を中心とした山中のエリアじや。ロープウェイに乗っての遊覧も絶景じや。

「棋盤石エリア」は仙人が碁を打つと言われておる巨岩・棋盤石を中心とするエリアじや。山内最大の仏教寺院である華嚴寺もこのエリアに属するぞ。

「仰口エリア」は展望台にもなっておる巨岩・天苑から臨む岩肌と海岸が美しいエリアじや。ロープウェイもあるから、ちょっとした散策には手ごるなコースと言えるかの。

「北九水エリア」は山内北西部に位置する溪流の美しいエリアじや。ここまで述べた山内東側や南側とは全く違う、ワシの女性的な一面を見て楽しめるぞよ。避暑にもびびったりじや。

「華嚴エリア」は山内西部に特徴的にそびえる巨岩・華嚴石を中心とするエリアじや。満々と水を抱く崂山ダムを眼下に見る景色が自慢じや。

ふう。駆け足で説明して少し疲れたのう。崂山ウォーターで一服じや。……まあ一言で言うと、ウチは一度二度と言わず、何度でもさまざまな趣を味わうことのできる自然のレジャーランドなんじやな。

— どんな歴史をお持ちなりましたっけ？

そうじやの。ここまででは自然についてはかり述べてきたからのう。文化の発祥地として語るとき、忘れてはならないのが「道教」との関係じやな。中国では古くから「名山大川、僧道多占」と言って、名山は常に信仰の対象となってきたのじや。春秋戦国時代にはすでに道教の道士たちが修験を行っておったから、人間との文化的な営みも深いんじや。

— お寺もたくさんをお持ちなりましたっけ？

ちなみに道教の寺院は「道観」と言うんじや。またひとつ賢くなったの。山内には道観と仏教の寺院が点在しておる。仏教との関連を示す最古の記載は東晋代、およそ1500年前。道教は紀元前1400年に現在の太清宮三官宮の前身である「三官庵」が創建されたのが始まりじや。各道観と各寺院には多くの史料が残されておるが、もちろんそれらを目にする機会はないじやろうが、それでも歴史上著名な道士や僧侶を多く輩出してきたのは確かなコトじや。

【我说、您是怎么出生的?】\* 稍有点难以理解, 在地址学上属新华夏系第二隆起代形成的构造。在震旦纪吕梁运动时期侵入的磐石在地表显示出来的。距今已有8千万年~1亿2千万年左右的时间了。磐石在燕山运动晚期之后, 几乎全部成为花岗岩。加之风化和剝蚀, 逐步构成了如今耸立的山峰。/【我说、您有什么样的岩石呢?】巨大的修石稀稀拉拉的, 以青蛙石、狮子石等为主的修石。人们是以其形状为其命名的。也有人把所有修石照片收藏起来作为收藏品的。不过拍起来稍有点麻烦。/【我说、海岸线有多长?】在海岸线耸立的崂山, 被称为“第一海山”什么的。这种情况下, 海与山连接处便是海岸线。它的总长度是87.3公里。海岸线曲折蜿蜒, 距离很长。/【我说、您的气候怎么样?】一句话就是“温暖湿润”, 不是松本润哦。因海流关系, 与同纬度地区相比是冬暖夏凉。因独特的地形多种多样动植物在此生长。关于植物, 不仅有温带还有寒温带寒带, 就连亚热带植物也不少。山中有树龄2000年的古柏, 树龄1000年的榆树, 宋代的银杏等。俨然一座大植物园的样子。/【我说、您有几个风景区?】巨峰、登瀛、流清、太清、上清、棋盤石、仰口、北九水、华嚴9个风景区, 共计446平方千米, 作为观光地开放。另外, 今后沙子口、王哥庄、北宅、惜福鎮、夏庄5个风景区也预定整備。/【我说、您所有的风景区, 每个地方有什么样的特色呢?】你不知道那么简单的事啊! 今特别别给您讲解一次, 要认真听。“巨峰景区”是以山頂的巨峰为中心纯粹享受山景的景区。不过外国人进山有限制。这里是代表崂山的地方啊。“登瀛景区”是可享受崂山远景的景区。从这里可以看到薄雾的普照盖山体的景色, 有“登瀛梨雪”的美誉。水蜜桃树很多, 花开时的景色也不错。“流清河景区”是有河流的景区。因为从古时就有村落, 所以“先天庵”或“铁瓦殿”等遗址也很多。“太清景区”是崂山道教中心信仰地。面向大海, 感受一下潮湿的海风, 心情会很舒畅。“上清景区”是以太清宮的別院“上清宮”为中心的景区。若要乘道遊覽此處, 便是絕佳遊覽勝地。“棋盤石景区”據說是以仙人下棋的巨石——棋盤石为中心的景区。山里有特大的佛教寺院華嚴寺。“仰口景区”是从天苑就可看到山和海的美丽景区。设有索道, 是很适合享受崂山的路线。“北九水景区”是位于山内西北部溪流的美丽景区。山的东南面则是完全不同的景色。在这里可以看到并享受到我的另一面。而且此处亦是避暑胜地。“华嚴景区”是矗立在山中西面有特色的石山, 以华嚴为中心。山下是注满水的朝山水库的怡人景色。说那么多有啥累, 就喝点朝山矿泉水……就是说, “不管来多少次, 都会体味到大自然的度假乐园。/【我说、您有多少寺庙, 是吗?】顺便说, 道教的寺庙叫“道观”, 你又长知识了吧。山内有很多道观和佛教寺院, 和佛教关联的记载是东晋时代, 大约1500年前。道教的起源是在公元前1400年设立三官庵。是现在的太清宮三官宮的前身。各道观和各寺院都保存有很多史料, 但我们当然没有可看的机会。不过历史上的很多著名道士和僧侣辈出倒是事实。



仰口エリア  
【撮影:原真悟】



北九水エリア



華嚴エリア



【找說、您名字の由来は何？】古代称之为“罕山”，亦有称之为劳山、二劳山、辅唐山、麓山的，在日本很少见“崂”字，所以有的日本人写的“劳山”二字也是没有错的，有人说“劳山”这个名字是因为山上有许多大块凹凸不平石头的“罕而的”而起的，也有说是齐桓公曾在这里设过兵营，“劳山”这个名字则是因为山峦叠嶂，上下“行走非常辛苦的山”而起的，带有“山”字旁，“崂”字，就已作为传统的固有名词北投名的文字了。/【有什么著名特产呢？】首先就是“水”，崂山泉水在中国国内也是数一数二的，青岛啤酒亦是用此泉水酿制，地表渗透的水中含有丰富的矿物质，绿茶是沿海潮湿湿润的空气与山泉水育出的高级产品，海产品中则有鲅鱼，如今养殖业的发展，能够生吃新鲜的鲅鱼也很自豪，还有水晶，花岗岩成分中含有相当多的水晶，明清时代是已经广为入知了，以碧晶、寒晶、茶晶三色的顺序，价格递增。清代时，某即墨籍人在此山中发现大块寒晶，就带回了家，之后在北京无寒中卖掉，据说卖了9副眼镜的价钱，在当时相当于一万两千两银子。不过，如今即便是发现了那么大的水晶也不可能带走回家，这个要知道。/想和崂山爷爷见面的话，参照右侧方法，迎接你的可能是温柔的笑脸，也可能是严肃的表情，不过心中肯定会留下它给你的温暖记忆。太清、棋盘石、仰口风景区共计上山费用50元/人[淡季30元/人]、太清宫拜观费15元/人[淡季10元/人]、太清宫风景区索道往返50元/人[单程30元/人]、仰口风景区索道往返40元/人[单程20元/人]、北九水、华楼风景区门票30元/人[淡季20元/人]、巨峰风景区门票40元/人[淡季30元/人]

— どうしてそんなお名前なんでしたっけ？  
古くは「牟山」と呼ばれておった。その他にも、勞山やら二勞山やら輔唐山やら麓山とも呼ばれとったがの。日本では「崂」の字はメツタに使わんから、表記の際に「勞山」と書いたりするヤツがあるが、あながち間違いではないと言うコトじゃ。「牟山」の名は、大きくゴツゴツした岩が多いために「牢固な山」からつけられたとか、齊の桓公がウチに牟屋を作ったからとか言われておる。「勞山」の名は、起伏が激しく山頂へ登るにも、上へ下へと「苦勞する山」からつけられたらしい。山へんに勞と書く今の「崂」の字は、ちなみにワシだけを表す固有名詞として考案された文字なのじゃ。

— どんな産物が有名なんでしたっけ？  
まずは水じゃ。伏流水は中国国内でも一二を争うブランド品で、青島ビールの原料水としても使用されておる。地層で濾過された水には多くのミネラルが含まれておる。緑茶も海岸沿いの湿潤な海風と伏流水が育てる高級品じゃ。海産物ではアワビじゃ。現在では養殖化も進み、生で食べられる新鮮なアワビが自慢じゃ。あとは水晶じゃ。花岗岩質のウチの岩は水晶をかなり含んでおる。明清代から広く知られるようになり、黒、紫、茶の色の順に価値が高いとされておるの。清代はじめに即墨出身の某が大きな黒水晶をうちで見つけ、勝手に持ち帰って勝手に北京で売ったら、眼鏡9式分のレンズが作れたらしい。当時は銀12000両儲けたらしいぞ。でも今はそんな大きな水晶を見つけても勝手に持って帰ったらダメじゃぞ。分かっておるな。

**崂山風景名勝区 (☎88899000)** ※下記「ノんびーク時」は11/1~翌3/31の期間

- 太清、棋盤石、仰口風景区 共通入山料 70元/人 (ノんびーク期50元/人)
- 太清風景区ロープウェイ 往復50元 (片道30元)
- 仰口風景区リフト 往復40元 (片道20元)
- 北九水風景区 入山料 50元/人 (ノんびーク期30元/人)
- 華樓風景区 入山料 10元/人
- 巨峰風景区 入山料 70元/人 (ノんびーク期50元/人)

- 106 李村—源头—夏庄—王哥庄—仰口—华严寺—长岭—垭口
- 107 李村—北龙口—北宅—兰家庄—大崂—河东—北九水
- 112 李村—北龙口—北宅—兰家庄—大崂
- 123 李村—源头—夏庄—王哥庄—仰口
- 304 轮渡—栈桥—中山公园—市政府—福州路—麦岛—海青路—全家岭—石老人—沙子口—大河东—流清河—八水河—垭口
- 311 轮渡—火车站—鲁迅公园—市政府—青岛大学—全家岭—龙口—北宅—蓝家庄—大崂—北九水
- 312 轮渡—火车站—鲁迅公园—市政府—青岛大学—海尔路—308国道—源头—夏庄—王哥庄—仰口
- 365 大港二路—洛阳路—胜利桥—李村—北龙口—北宅—兰家庄—大崂—河东—北九水
- 371 昌乐路—北岭—洛阳路—李村—源头—夏庄—王哥庄—仰口
- 802 火车站—栈桥—市政府—福州路—海青路—全家岭—石老人—沙子口—大河东—流清河—八水河—垭口

崂山さんに会いに行きたくなったら左記の方法で。時には優しい顔で、時には厳しい顔で迎えてくれるはず。でも心に残る、何か温かなものを与えてくれることは間違いありません。



**青島を熱狂させるあのイベントが今年も開催！  
第19回青島国際ビール祭！**

1991年から始まり、今年で第19回目を迎える青島国際ビール祭。昨年はオリンピック開催の関係で少し遅めに開催されましたが、今年は例年通り、8月15日(金)から8月30日(日)までの16日間開催されます。崂山区の青島ビール城をメイン会場に、今年からは青島ビールが新たに城陽区に建造した全地下型の巨大施設「青島ビール坊」も会場に。毎年1日20万人の人出と50キロリットルのビールが消費されるという「ビールの街」青島の最大イベントであり、アジア最大規模のビールの祭典として国内外で広く認知されている青島国際ビール祭。27000㎡の会場には大型テントが設置され世界各地のビールが大集結。絶叫マシンも設置される予定。歌謡ショーやビール飲み競技など、各種楽しいイベントも盛りだくさん。ビールの街の熱狂を、美味しいビール片手に満喫してみませんか。

問合せ：青島国際ビール城(☎88899019/88893990) / 青島国際ビール坊(☎87748228)

【今年半お熱狂の青島祭日—第19回青島国際啤酒節】自1991年开办，今年迎来了第19届青島国際啤酒節。去年因举办奥运会推迟了，今天同样一样，从8/15(周五)-8/30(周日)举行为期16天的活动，崂山区的啤酒城为主会场，从今年开始，青島啤酒位于城陽区建造的全地下型巨大设施“青島啤酒坊”作为分会场，每年平均一天内有20万人出入会场，有50余种啤酒供选择的“啤酒街”是青島特别大的活动，“啤酒街”作为亚洲最大啤酒盛会在国内外非常著名，27000平米的会场上有大型帐篷，是世界各地啤酒的大集合地，也预定设置刺激的游乐设施，还有歌谣、啤酒啤酒比赛等项目，各种娱乐节目俱备，试着感受一下啤酒的狂热，品尝一下美味的啤酒怎么样？/“青島啤酒坊”占地20000平米以上，设施面积15000平米，是青島市北部大型的全地下设施，因为全地下设施，所以最大的好处就是不受外界天气影响，大型餐厅、大型购物中心、大型KTV、小型电影院、儿童游乐场等网点入驻，不久不久的将来城陽区将成为青島的又一个新型商业区。

【青島ビール坊】敷地面積20000㎡以上、施設面積15000㎡を占める青島市北部最大の大型アミューズメント施設。地下型施設であるため天候の影響を受けないのが最大の特長。大型レストラン、大型ショッピングセンター、大型KTV、ミニシアター、キッズランドなどがテナントとして多く入居し、近い将来、城陽区または青島の新たなランドマークとなっている。青島市城陽区瑞陽路后田社区 海都广场 ☎87748228

